MaBeeeを使って プログラミングに 挑戦しよう！

MaBeeeが教育用プログラミングツール「Scratch（スクラッチ）」とつながるようになりました！
パソコンの中に「スクラッチ」と「MaBeee-Desktopアプリ」の2つのアプリをインストールすると、パソコンとMaBeeeがつながります。スクラッチの画面でプログラムを作れば、MaBeeeが入ったオモチャを動かしたり止めたり、速さを変えたりすることができます。

● アプリのダウンロードとインストールについて

アプリのダウンロードとインストールの方法は、こちらのページで見ることができます。
ダウンロードページへのリンクもあります。

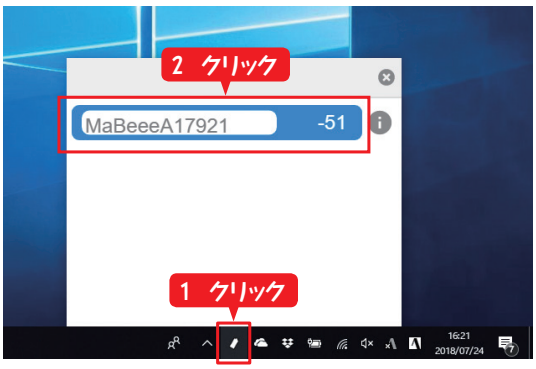
https://mabeee.mobi/usecase/scratch/

- 「Scratch1.4」のダウンロードは無料です
- 「MaBeee-Desktopアプリ」のWindows版は1000円です（対応OS：Windows10 Creators update以降）
- 「MaBeee-Desktopアプリ」のMac版は1080円です（対応OS：macOS Sierra以降）
- 「MaBeee-Desktopアプリ」には、無料で5分間使えるお試し版も用意されています

●MaBeeeとパソコンをつないでみよう

アプリのインストールが完了したら、MaBeeeとパソコンをつないでみましょう。

●Windows 10のスタートボタンや、Macのメニューから、「MaBeee-Desktopアプリ」を起動します。



●メニューバーに表示されたMaBeeeアイコンをクリックすると、MaBeee一覧が表示されるので接続したいMaBeeeをクリック。表示が青く光ったら接続完了です！

●スクラッチでプログラミングの準備をしよう

スクラッチと連携することによって、MaBeeeの操作ができるようになり、かんたんにプログラミングが体験できます。

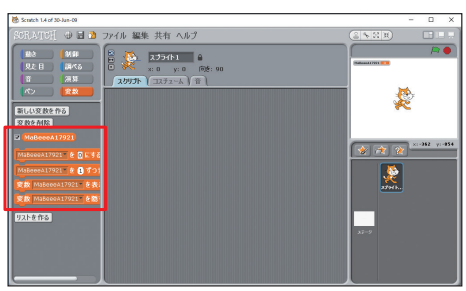
●Windows10のスタートボタンや、Macのメニューから、「Scratch1.4」を起動します。

1「調べる」をクリック→「ボタンが押された」を右クリック→「遠隔センサ接続を有効にする」をクリックします。

2「遠隔接続が有効になりました」が表示されたら、「OK」をクリックします。

3「変数」→「新しい変数を作る」をクリックして、MaBeeeの名前（MaBeee 008113など）を入力したら、「OK」をクリックします。

※複数のMaBeeeをつなぐときは、それぞれのデバイス名をつけることで、複数のMaBeeeを個別に操作するプログラムを作れます。



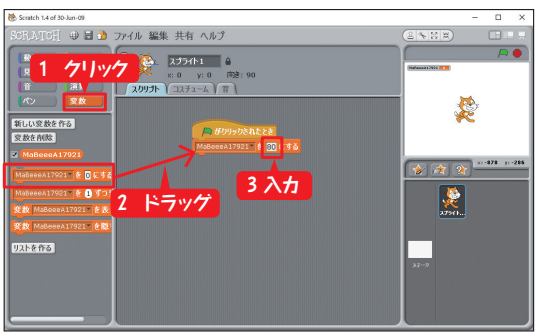
4「変数」にMaBeeeの名前が追加されます。

●スクラッチでプログラムを作ってみよう

スクラッチで、次のようなプログラムを作ってみましょう。電車や車のオモチャをプログラムしたとおりに動かすことができます。

- MaBeeeの強さを80にして2秒間動かす
- 2秒間休む
- 5回繰り返す

1 まずは、プログラムをスタート部分を作ります。「制御」の「(緑の旗)がクリックされたとき」のブロックを選んだら、画面の中央にドラッグします。



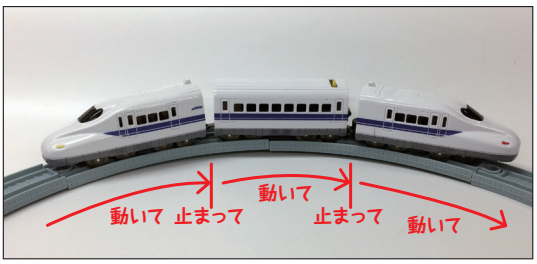
2「編集」を選んで、「MaBeee●●●●を●にする」のブロックをドラッグして、「(緑の旗)がクリックされたとき」の下にくっつけます。
次に、数字の部分をクリックして、「80」と入力します。

3「制御」の「●秒待つ」をドラッグして、「MaBeee●●●●を●にする」のブロックにくっつけて、数字の部分をクリックして、「2」と入力します。

裏に続きます

4 同じように、「MaBeee●●●●を●にする」をくっつけて、数字を「0」にします。
その下に、「●秒待つ」をくっつけて、数字を「2」にします。

5 「制御」の「●回繰り返す」をドラッグして全体を囲むようにくっつけます。数字の部分を「5」にしてみましょう。
これでプログラムは完成です。「(緑の旗) がクリックされたとき」のブロックをクリックして、動かしてみましょう。



6 電車や車のオモチャが、プログラムしたとおりに動いたり止まったり、したでしょうか？　うまくいったら、ほかの動かし方を試したり、ほかのオモチャも動かしてみたりしましょう。

7 作ったプログラムは保存しておきましょう。「ファイル」→「名前を付けて保存」を選んだら、「新しいファイル名」を入力して、「OK」をクリックします。

8 次にスクラッチを起動したときに、「ファイル」→「開く」を選ぶと、保存したファイルを選んで開くことができます。

© 2018 JAMHOUSE